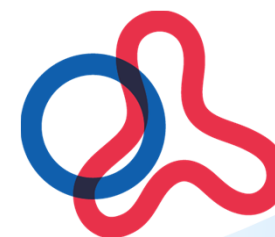




# ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム

広報関係資料

(14/7/3版)



Osaka  
University  
Humanware  
Innovation  
Program



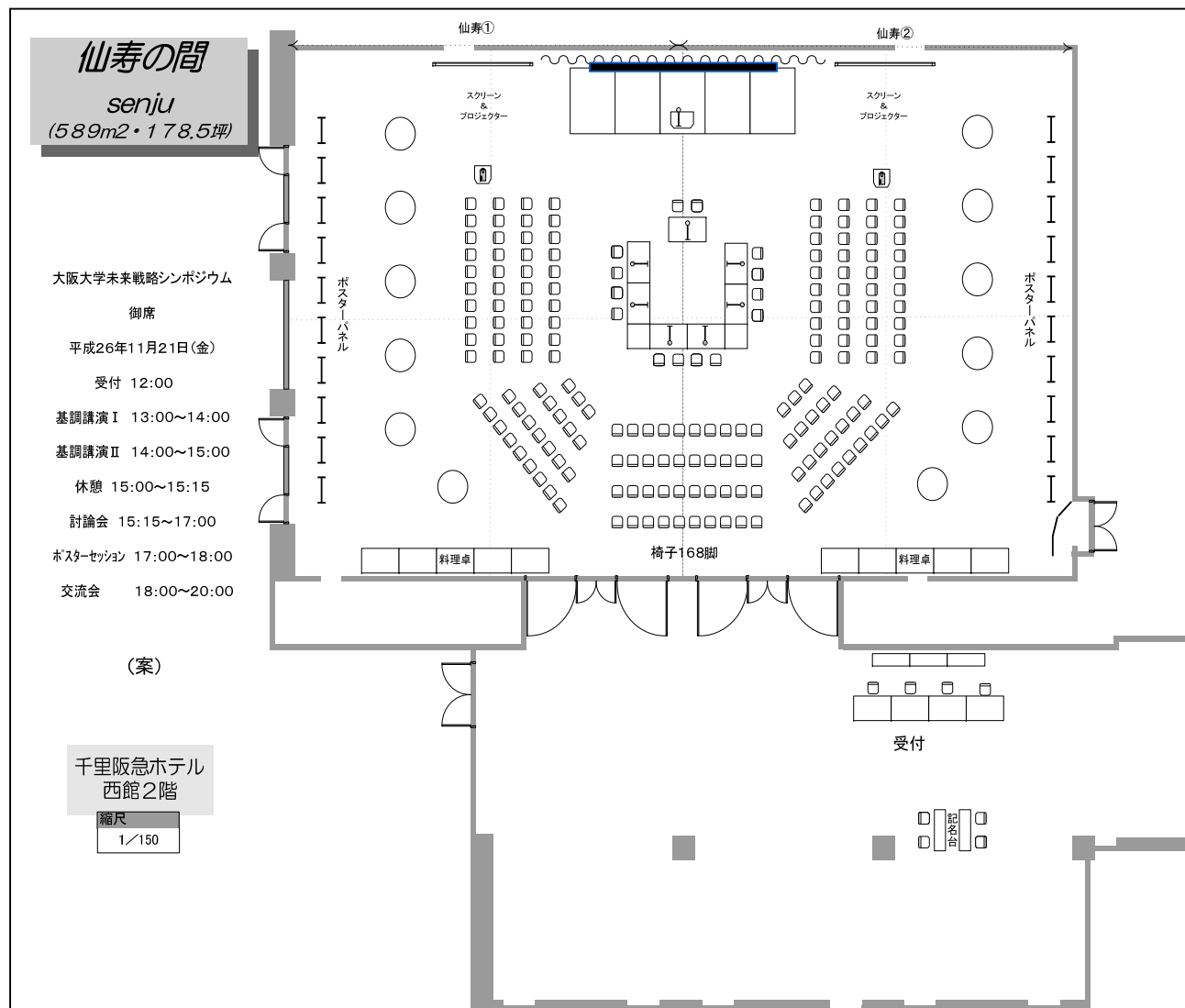
## 第2回シンポジウム (未来戦略シンポジウム)

- 11月21日(金) 千里阪急ホテル 仙寿の間
  - プログラム案
    - 12:30 受付開始
    - 13:00-13:10 開会の挨拶 (井上先生)
    - 13:10-13:20 ご挨拶 (東島理事)
    - 13:20-13:45 プログラム概要説明 (西尾先生)
    - 13:45-14:15 基調講演 (文科省里見課長?)
    - 14:15-14:25 会場準備&休憩
    - 14:25-15:15 公開討論1：未来志向イノベーション (細田一先生)  
融合研究, イノベーション
    - 15:15-15:35 コーヒーブレイク
    - 15:35-16:25 公開討論2：学生の声 (八木先生)  
アウトカムズ, 雇用
    - 16:25-16:35 パネリスト交代&休憩
    - 16:35-17:35 公開討論3：リーダー人材 (清水先生)  
カリキュラム, プログラム
    - 17:35-17:50 講評 (アドバイザー委員代表2名)
    - 17:50-18:00 閉会の挨拶 (大竹理事)
    - 18:00-19:30 フリーミキサー (ポスター&軽食)



## 第2回シンポジウム会場レイアウト案

- 公開討論は中央卓使用
- コーディネータ1名
- 履修生2, 3名
- 外部3, 4名
  - 外部担当者
  - アドバイザー委員
- プログラム担当者など  
1, 2名





## Webページ刷新

- 3社コンペの結果, 毎日新聞に委託することを決定
  - ホームページの各アイテムは容易に変更可能
  - アクティビティ (活動予告/報告) には履修生もページを作成
    - 教員が承認すると公開される
    - タグなどで区別できるようにする
- スケジュール (シンポジウムに間に合わせる)
  - 7~9月 開発
  - 9末~10頭 移行

### 提案ページスナップショット



### カバーページ例





# 新ホームページ サイトマップ案



メニュー

News&Topics

新規ページや注目させたいページを自由に配置

ビデオクリップ・Twitter・Facebook

Q & A   リンク   アクセス・問合せ   教職員専用   履修生専用

HWIPについて

学生生活

教員・履修生紹介

イベント

募集について

プログラム概要

プログラム特色

プログラム担当者

カリキュラム概要  
開講授業科目一覧

履修のてびき

学生支援  
研究費助成  
学生企画支援  
オフィスアワー  
学生アドバイザー

奨励金制度について

奨励金受給者一覧  
提供施設

履修生紹介

各履修生ページ

教授・研究室紹介

各教授ページ

一覧

各ページ

アドミッションポリシー

H2X 募集要項

合格発表

期間限定

学生支援  
奨励金制度について

同じページヘルリンク





## パンフレット

- 現状のものをベースに内容を更新
  - 履修生候補向けであると同時に外部向けの広報資料どんな理念の下で、こういったカリキュラムによって、どのような人材を育成、輩出するか？
- 図表の見直し
  - 特任教員
- 見開きの文章の見直し
  - 若宮

ハードウェア、ソフトウェアに次ぐ第三のウェア！  
ヒューマンウェアによって今こそパラダイムシフトを起こす博士人材の育成を  
Hardware, software ... humanware: Now is the time to create a paradigm shift

「ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム」の意義と理念

情報技術は、ハードウェア、ソフトウェア両面において類まれな発展を遂げており、その結果、人間同士が情報ネットワークを介して密接につながり合い、複雑なダイナミクスを持つ巨大なネットワークを構築しています。このように変化する情報社会では、生起する問題に対応できる情報技術としてのヒューマンウェアの確立が急務です。ヒューマンウェアに関する技術を習得するには、人間や環境に調和した情報社会を構築するための「情報ダイナミクス」、情報を受け取って理解し、新たな情報を生み出す人間の高度脳機能としての「認知ダイナミクス」を理解することが必要です。さらに、人や環境に柔軟に対応するためのダイナミクスとして、変化する環境に適応し、進化してきた生物の「生体ダイナミクス」の理解も不可欠です。

本学位プログラムでは、このようなヒューマンウェアという新たな視点から、絶えず変化する社会環境を支え、柔軟性、頑強性、持続発展性を有するシステムを構築できる卓越したリーダー人材を、徹底した融合研究(高同熟練)により育成します。具体的には、人間中心の情報技術の構築、災害時にも自律的復旧が可能な社会ネットワークの構築、世代や立場を超えた人間同士のコミュニケーションやコミュニティ形成を促進する情報技術の開発、さらにそれらを利用してイノベーションの方向を転換へと導く人材を育成します。

Ideals and Significance of the Humanware Innovation Program

Information technology has developed remarkably in terms of both hardware and software. People are now closely interconnected through information networks which together form a complex and dynamic super-network. One urgent challenge in this rapidly changing information society is the development of humanware: the technology that addresses flows of information linking humans and the resulting transformation of human relationships.

To acquire skills related to humanware, it is essential to understand the "information dynamics" required to construct an information society attuned to both humans and the environment. It is also necessary to understand "cognitive dynamics," the dynamics of higher brain functions for receiving, understanding, and generating information, and "biological dynamics," the dynamics of biological systems to adapt to people and the environment.

Underpinned by an approach known in Japanese as *Seido Jukugō*: deliberation through intensive interdisciplinary studies, the Humanware Innovation Program fosters leaders who can construct flexible, robust, and sustainable systems that support an ever-changing social environment by introducing an entirely new concept: humanware. Graduates will develop human-oriented information technology, social networks that can recover autonomously in the event of a disaster, and information technology that encourages close communication and builds new communities beyond generations or differences of position and philosophy. Conventional innovation has been prone to constructing unstable and complex systems that place an unnecessary burden on people and the environment. Our program will produce leaders capable of shifting innovation in more productive and sustainable directions.

複雑なシステムを  
少ないエネルギーで制御  
Control complex systems  
using less energy

イノベーションの  
方向を変える  
Change the direction  
of innovation

環境への負荷が  
増大  
Increase environmental  
load

人間や環境に調和した  
複雑なシステムを構築  
Construct complex systems  
in harmony with humans and  
the environment

20世紀  
20th century

消費エネルギーの増大、環境への負荷  
Increase energy consumption, environmental load

生体  
ダイナミクス  
Subsystem  
dynamics

認知  
ダイナミクス  
Cognitive  
dynamics

情報  
ダイナミクス  
Information  
dynamics

人間ウェア  
Humanware

持続発展性  
Sustainability

柔軟性  
Flexibility

頑強性  
Resilience

新たな視点でイノベーションの方向性を転換し、  
絶えず変化する社会環境を支えるために、  
徹底研究を有するシステムを構築できる博士人材の育成  
Fostering doctoral leaders who can change the direction of innovation  
and construct complex yet flexible, robust,  
and sustainable systems to support an ever-changing social environment



## 教職員・履修生専用ページの開設



Osaka University  
Humanware  
Innovation  
Program

プログラムについて  
ABOUT PROGRAM

カリキュラムについて  
CURRICULUM

募集について  
ABOUT RECRUITMENT

学生支援について  
STUDENT SUPPORT

ニュースレター  
NEWS LETTER

お知らせ  
NOTIFICATION

リンク  
LINKS

アクセス・お問い合わせ  
ACCESS & CONTACT

関係教職員専用ページ  
STAFF ONLY

履修生専用ページ  
STUDENT ONLY

ヒューマンウェアによって  
今こそ  
パラダイムシフト  
博士人材の育成を  
起こす

平成26年度 奨励金新規受給者を掲載しました。



News お知らせ一覧  
【お知らせ】 2014.5.15 平成26年度 奨励金 新規受給者を掲載しました (PDF)  
【その他】 2014.4.6 平成26年度 経済学系科目一覽を掲載しました (リンク)  
【お知らせ】 2014.4.6 平成26年度 奨励金新規受給者を掲載しました (PDF)

Welcome to HW sublocal server.  
→ Program HP

→ Tentative event calendar (permission only from osaka-u)  
※行事予定(6/27からのみアクセス許可)

→ Curriculums (permission only from osaka-u)  
※カリキュラム(6/27からのみアクセス許可)

→ Application forms (permission only from osaka-u)  
※各種申請書(6/27からのみアクセス許可)

→ Photos (permission only from osaka-u)  
※写真(6/27からのみアクセス許可、画パスワード)

Please feel free to contact us if you have any questions.  
email: office@humanware.osaka-u.ac.jp  
Tel: 06-6779-4055

HWIP event calendar / InnovationRoom reservation

Total

6

3

3

July 2014

Print

View

Month

Agenda

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
29	30 4pm busy	Jul 1	2 12pm busy 1pm busy	3	4 4pm busy 5:30pm busy	
6	7	8 busy	9 5:30pm busy	10	11	12
13	14 busy	15	16 12:30pm busy 5:30pm busy	17 5:30pm busy	18	19
20	21	22	23	24 5:30pm busy	25	26
27	28	29 2pm busy	30 3pm busy	31 2:40pm busy	Aug 1	

Monday, July 28, 2014

10:00 AM